

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	給水装置データベース事業促進費		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度		担当課室	水道課		水道課長 石飛 博之	
会計区分	一般会計		施策名	IV 4 2 安全で質が高く災害に強い水道を確保する。			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第16条		関係する計画、通知等	「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の一部を改正する省令及び給水装置の構造及び材質の基準に係る試験の一部改正について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成8年の規制緩和により給水器具の型式承認制度を廃止した結果、国がすべての給水器具についての基準適合性の情報を集積・管理し、基準に適合している給水装置であるか否かの情報を的確・迅速に活用できるようにすることが必要となったため、給水器具の基準適合性に係る情報を電子情報として機能的に整理・記録する給水装置のデータベースの管理・運用を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	給水装置データベースの改良、給水装置の情報入力、給水装置データベースの保守管理						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	11	8	8	8	10
		補正予算					
		繰越し等					
	計	11	8	8	8	10	
	執行額	10	8	8			
執行率 (%)	90.9	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	給水装置データベースの改良、情報入力、保守管理を行うものであり、事業の性質から数値で定量的に成果目標を示すことができない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	データベース更新等運用保守回数		活動実績 (当初見込み)	33 (前年度程度)	40 (前年度程度)	29 (前年度程度)	— (前年度程度)
単位当たりコスト	212,600 (円/回)		算出根拠	給水装置データベースシステム運用保守費/データベース更新等運用保守回数			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	雑役務費	8	10				
	計	8	10				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	安全で質の高い水道を確保するため、基準に適合しているか否かの情報を的確・迅速に活用することは広く国民のニーズがあり、優先度が高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	基準適合の情報は全国一括して管理すべきであり、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	国庫債務負担行為だが、契約初年度において業務を実施するにあたり、一般競争入札を行い、競争性の確保を図っているため、支出先の選定も妥当である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	データベース更新等運用保守回数は、新規に登録又は更新される製品及び事業者の情報の数やシステム(マイクロソフト)のセキュリティパッチの回数等によって、毎年変動があるため予測は困難。給水装置に係る情報は、次年度以降にも活用できるよう、管理の徹底がなされている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は見込みに見合ったものである。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	活動実績からみてその成果物は十分に活用されている。
点検結果	<p>支出先・使途については、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できている。本事業は、給水装置制度の維持に向けて、水道事業者、給水装置工事事業者、水道利用者等に必要な情報を迅速に提供するために継続することが必要な事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、給水装置制度の維持に向けて、消費者、給水装置工事事業者、水道事業者等に必要な情報を迅速に提供するために継続することが必要な事業であり、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	340	平成23年行政事業レビュー	308

厚生労働省 8百万円

給水装置制度の維持
給水装置に関する消費者、給水装置工事
事業者、水道事業者等への情報提供



【国庫債務負担】

A. 東芝ファイナンス(株) 6百万円
IBJL東芝リース(株)2百万円【社名変更】

給水装置データベースシステム賃貸借、
運用、保守

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 東芝ファイナンス(株) IBJL東芝リース(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
情報管理費	給水装置データベースシステム賃貸借	8			
計		8	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.東芝ファイナンス(株)及びIBJL東芝リース(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東芝ファイナンス(株) IBJL東芝リース(株)【社 名変更】	給水装置データベースの改良、情報入力及び給水装置データベースの保守管理	8		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					